

皆さまからの声

お寄せいただきましたご意見等

平成29年7月11日

現在、旧立葉小学校は、業者さんや、市民活動に使用されているようですが、ここに子育て支援施設を入れることはできないのでしょうか？

今、旧小学校がどのような契約になっているのか分かりませんが、せっかく運動場も残っているのに業者のトラックがいっぱい停まっいて、勿体無いな、少しでもスペースをもらって、子どもの遊び場を分散できたらいいのになと思うこともあります。

また、立葉幼稚園に入園する人も多いと聞いています。住んでいる地区の公立幼稚園に入れられないかもという一抹の不安もあります。

せっかく綺麗に建て替えられて 25年しか経っていない建物です。生涯学習だけではなく、支援施設や保育所など、とても小さい子どものために何か活用できないのでしょうか？

浪速区役所や関係部署からの回答

平成29年8月3日

もと立葉小学校につきましては、地域コミュニティの活用場所として区役所に使用承認を行い、また、大阪市立小学校、中学校、高等学校の施設、園芸等整備の拠点を設置しており、重機の保管やトラックの出入りなど子育て支援施設としては活用しにくい状況です。

これまで待機児童解消はもとより平成30年4月までに保育を必要とするすべての児童に対応した入所枠の整備を計画的に進めており、本市が保育所等の開設地域を指定し事業者へ建設費等の補助を行う補助金整備事業、開設地域を指定せず事業者の自主財源による整備事業を実施しており、お住まいの近くにおいても、公募の結果、平成30年4月より認可保育所が開設する予定となっております。

なお、保育需要の高い地域については事業者の自主的な判断により応募が見込まれることから、浪速区においては、引き続き事業者の公募を行っており、ご意見のあった、もと立葉小学校につきましては、現在のところ保育所等としての活用は計画しておりません。

それと合わせて、浪速区では、現在、区内すべての地域における保育所への入所待機児童の解消をめざし、区役所庁舎の活用も含めて保育所等の設置や誘致を進めるとともに、地域の子育てサロンの活性化に向けた支援施策に取り組んでおります。

区内には、子育て支援施設として、子ども子育てプラザをはじめ、区内3か所の子育て支援センターやつどいの広場がございますが、ご指摘の区北西地域につきましては、こうした子育て支援に関する施設が不足していると認識しております。引き続き、関係部局とも連携しながら、子育て支援施設の充実に向けて取り組んでまいります。

なお、現在、区北西地域では、立葉幼稚園が毎週水曜日に園庭開放（なかよしデー）を実施するとともに、主な区内の保育園が、月1回、開放デーを実施しております。詳しくは、区広報紙「なにわ」や区ホームページに掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

皆さまからの声

お寄せいただきましたご意見等

平成29年8月29日

9月5日の地震発生の訓練について

区役所の職員一人一人が笛を名札と共に持ってくださいますか？
多くの来客の方を誘導される時は、とても役立つし、万が一何かの下敷きになったときに「ここにいる！」ことがわかります。
(阪神淡路大震災の経験から)

浪速区役所や関係部署からの回答

平成29年8月31日

災害が起きたときには、職員自身の安全確保とともに、初期初動として来庁者の安全確保を行うこととしています。

現在、防災担当職員につきましては、笛を携帯していますが、全職員への携帯につきましては、今後検討させていただきます。

実体験に基づいた貴重なご意見ありがとうございました。